

## 3月23日定例記者会見事項書

令和8年3月23日（月）午前11時～

本庁舎4階 庁議室

### 1. 市長からの発表

(1) 市長公約の進捗状況 ----- (資料No.1)

(2) 水道基本料金6カ月間無料 ----- (資料No.2)

(3) (旧) 観光食堂を活用したカフェがオープンします ----- (資料No.3)

(4) 映画「黒牢城」ロケ地に伊賀市の上野公園が使われました --- (資料No.4)

### 2. その他

## 市長公約に係る実施状況 (令和8年3月末)

○ 完了  
 △ 着手  
 × 未着手

番号	公約の概要	進捗状況
1	県と連携した広域防災	△
2	グリーンインフラの推進	×
3	政策コストの発生源やコスト計算を明確にする行政改革	△
4	市民との合意形成や説明責任が果たせていない事業の再検証と見直し	△
5	公共事業・公共調達で貧困を生まない、働く人と地元事業者、地域経済を豊かにする「公契約基本条例」を制定	△
6	市長自らが「出向く広聴広報」	○
7	交通空白地域を生まない公共交通の再構築	△
8	伊賀市全体を大学生や研究者が行きかう研究のフィールドにする	△
9	廃止された公共施設の復活や機能強化も含めた利活用の検討	△
10	停滞している旧ふれあいプラザ利活用の早期決着	△
11	地域に丸投げをしない、寄り添う市民活動支援と支所機能の再構築	△
12	地域コミュニティの機能強化	△
13	課題解決型ビジネスモデルの後押し	△
14	自治会単位の防災体制と消防力強化	△
15	戦後80年を迎えた平和教育	○
16	公立保育園の統廃合・民営化の見直し	○
17	第2子出産時など「断らない一時保育」のための体制強化	△
18	自然保育や少人数など特色ある保育園	△
19	豊かな自然や芸術など「体験型」の特色ある保育・幼児教育の展開	△
20	ゼロ歳から義務教育終了まで一貫した「育ちのビジョン」をつくる	△
21	「医療・保健・福祉・地域」をつなぐ健康づくり	△
22	子ども・若者が自ら考え、意見を出し合い反映させるしくみづくり	△
23	子ども医療費18歳までの窓口無料化	○

## 市長公約に係る実施状況 (令和8年3月末)

○ 完了  
 △ 着手  
 × 未着手

番号	公約の概要	進捗状況
24	医療、看護、福祉、買物、配食などあらゆる「訪問型サービス」を活発にする補助制度	×
25	市の関西戦略と営業力の強化、県と連携した国際展開で、観光誘客、伊賀ブランドと新たな産業の育成	△
26	地域経済に新たな価値を生む、徹底した起業支援と街づくり人材の育成、公民連携・産学官連携の強化	△
27	次世代の農業を担う多様な人材育成「伊賀市農業アカデミー」の開講	×
28	豊かな森づくりと林業の再生	△
29	伊賀米・伊賀牛・野菜・果樹、有機農業などのブランド力を高める	△
30	地域資源の活用や地域課題解決のための人材を育てる「ローカルベンチャー」の取り組み	△
31	伊賀のブランドの地産地消、関西圏や国際展開による販路拡大で「農業の攻め」を強化	△
32	地産地消・有機農業・小規模林業を広げ、後継者が育つ元気な農山村づくり	△
33	集落営農、獣害対策、ため池の保全による「農業の守り」	△
34	木造住宅の耐震化率向上	△
35	発生抑制・適正管理・有効活用が柱の空き家対策	△
36	18歳成人式の中止	○
37	義務教育なのに重い負担の学用品・教材費・修学旅行など「かくれ教育費」の負担軽減・無償化を進める	×
38	先生や保育士が子どもと向き合う時間を増やす働き方改革	△
39	教育格差に立ち向かう学習支援	△
40	インクルーシブ教育や日本語教育のための市独自の教職員確保	△
41	「障害」の有無で分離しない、共に学び、育つ「インクルーシブ教育」に向けた環境をつくる	△
42	子どもたちの文化・芸術などの体験機会創出	△
43	市民病院への医師・看護師の確保	△
44	ケア労働者の処遇改善	△

○ 完了 5件 (11.4%)  
 △ 着手 35件 (79.5%)  
 × 未着手 4件 (9.1%)

担当連絡先
伊賀市上下水道部経営企画課営業係
担当者名：増田、家喜
電話番号：0595-24-0003

## 水道基本料金の6カ月間無料について

### 1 発表事項の概要

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた住民や事業者に対し経済的影響を軽減するための支援策として、令和8年4月から9月検針分の6カ月間（令和8年5月から10月請求分）、水道基本料金を無料にする。

### 2 発表内容

#### (1) 目的

物価高騰による影響を受けている生活者や事業者の負担軽減を図るため。

#### (2) 内容

水道基本料金を6カ月間無料にします。

#### (3) 対象年月日

令和8年4月から9月検針分の6カ月間（令和8年5月から10月請求分）

#### (4) 対象者

水道利用者（官公署・臨時用を除く）

#### (5) 従来との比較

令和7年度実績	対象：一般家庭、事業所（官公署除く）
	対象期間2カ月分 基本料金半額 36,420千円
令和6年度実績	対象：一般家庭、事業所（官公署除く）
	実施期間2カ月分 基本料金無料 73,039千円
令和5年度実績	対象：一般家庭、事業所（官公署除く）
	実施期間4カ月分 基本料金無料 145,444千円
令和4年度実績	対象：一般家庭、事業所（官公署除く）
	実施期間4カ月分 基本料金無料 145,636千円

#### (6) 他市の状況

伊勢市	令和8年4～9月検針分	基本料金無料化
尾鷲市	令和8年6～8月検針分	基本料金減免
鳥羽市	令和8年4・5月検針分	基本料金減免
志摩市	令和8年2～7月検針分	基本料金免除

担当連絡先
伊賀市産業農林部観光振興課 誘客推進係
担当者名：辻本、川崎
電話番号：0595-22-9670

## 上野公園内（旧）観光食堂を活用したカフェのオープンについて

### 1. 発表事項の概要

上野公園内の市有施設（普通財産）である旧観光食堂（建物名称：観光食堂）が、カフェとして2026（令和8）年3月28日（土）午前10時にオープンします。

### 2. 発表内容

従前の賃借人の営業終了により令和3年度以降未利用となっていた観光食堂について、公園利用者の満足度向上を目的とした利活用を行うため、民間事業者から広く募集する公募型プロポーザル方式により採択事業者を決定し、賃貸借契約を締結しました。（契約期間：令和7年12月1日から令和10年3月31日まで）

このたび、新たな運営事業者による開業準備が完了し、営業を開始されることとなりました。

### 3. 施設及び店舗概要

① 建物名称	観光食堂
② 所在地	伊賀市上野公園内
③ 建物概要	貸付面積：97.2 m <sup>2</sup> （鉄筋コンクリート造）
④ 運営事業者	特定非営利活動法人 絆
⑤ 店舗名称	Kizuna the kimono cafe
⑥ 内容	・カフェとしての飲食提供 ・観光客向けの休憩スペース ・インバウンド観光客も意識した和装小物等の販売

※店舗内容の詳細については、運営事業者の担当者に直接ご確認をお願いします。

（担当 山崎 090-8672-1245）

別紙

「旧上野観光食堂位置図」



「旧上野公園観光食堂写真」(貸付時の状況)



担当連絡先
伊賀市建設部都市計画課公園施設係
担当者名：大谷、山本
電話番号：0595-41-0290

映画「黒牢城」ロケ地に伊賀市の上野公園が使われました

## 1 発表事項の概要

今年6月19日(金)公開の松竹映画「黒牢城」は、第166回直木賞作品である米澤穂信(よねざわ・ほのぶ)著「黒牢城」が原作の戦国系心理ミステリー映画になっています。

その映画のロケ地として上野公園が使用されました。

## 2 発表内容

### (1) 内容の概要

この作品は、天正6年(1578年)、荒木村重(本木雅弘)が暴虐な織田信長のやり方に反発し、籠城作戦を決行するが、有田城は織田軍に囲まれ孤立無援に。城内の血気盛んな家臣を抑えながら、村重は妻・千代保を心の支えに、城と人々を守ろうと苦心していた。そんな時、城内で少年が殺される事件が発生。その後も怪事件が次々と起こる。容疑者は、密室とかした城内に居る家臣か身内の誰か。城外は敵軍。城内は裏切り者。誰もが疑心暗鬼になっていく中、村重は牢屋に幽閉した敵方の危険な軍師・黒田官兵衛と共に、謎の解明に挑むという戦国系心理ミステリー。

伊賀市の上野公園では、荒木村重が籠城する有岡城の本曲輪として伊賀上野城の本丸広場から台所門跡にかけてのエリアを、広範囲にわたり使用して撮影されました。当該シーンは、物語の核心部になる部分で詳細はお話できませんが、ロケ当日(11月4日)には、俳優の本木雅弘さんやオダギリジョーさん、吉原光夫さんらが、石段を駆け上がっていました。皆さんも映画の中でお楽しみください。

上野公園内での撮影のようす(松竹株式会社提供)





(2) 公開日 2026(令和8)年6月19日

(3) その他

松竹映画では「引っ越し大名」(2019年公開)のロケ地としても上野公園が使用されています。